

中高生の生活実態に関するアンケート（ヤングケアラー実態調査）

日頃は、本市の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども、いわゆる「ヤングケアラー」については、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任を負うことで、本人の成長や教育に影響がありうるといった課題が指摘されています。

国においては、昨年12月に初の全国調査が実施され、今年4月に公表された結果によると、自身を「ヤングケアラー」と自覚している中高生は約2%であり、また、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがない中高生は8割を超えるなど、まずは「ヤングケアラー」についての認識を広めるとともに、支援を必要としている「ヤングケアラー」とその家族に対する具体的な支援施策のあり方を検討することが求められています。

こうした中、本市においても、福祉、子育て、教育等に関わる関係局が連携し、取組を進めているところですが、今回、「ヤングケアラー」に対する認知度を高め、支援を必要とされるご家庭を着実な支援策に繋げるため、当事者となり得る中学生や高校生に対するアンケート調査を実施いたします。

- 7月中旬から8月下旬に、市立中学校・高等学校の全生徒を対象として、実施します。
- ヤングケアラーに係る他のアンケート調査等も踏まえ、後日、集計結果を公表します（時期未定）。

アンケート内容は次ページ以降に掲載しています。

「中高生の生活実態に関するアンケート（ヤングケアラー実態調査）」

皆さんが、家族のケアやお手伝いをするのはとても素晴らしいことです。しかし、本来**大人が担うと想定されるような家事や家族の世話などを日常的に行っている**ことにより、学校に行けなかったり、友達と遊ぶ時間がなかったり、自身がしたいと思っていたクラブ活動ができなかったり、宿題などの勉強に割く時間がつくれなかったりして、心や体に負担を感じている、または、誰かに相談したいけれどなかなかできない子どもたちがどれくらいいるのかについての調査です。

このアンケートは京都市立中学校・高等学校の全生徒を対象として実施するもので、教育委員会が集計しますので、**個人が特定されることはありません**。また、**答えにくい質問は回答しなくても構いませんし、回答しないことによる不利益もありません**。

より良い支援策を検討していくためにも、できる限り多くの生徒の皆さんの協力をお願いします。

また、身体的・精神的な負担、あるいは、時間の感覚的長さなど、感じ方は人それぞれです。回答に際しては、考え込まないで、自分の感覚で答えてください。

【はじめに】

このアンケートの回答にご協力いただけますか。

このアンケートの回答は任意です。答えたくない方は、2 に○をして、アンケートを終了してください。

1. アンケートを答える

2. アンケートに答えたくない →回答は終了です。ありがとうございました。

I. 基本情報

問1 あなたの学年を教えてください。（あてはまる番号 1 つに○）

1. 中学1年生

2. 中学2年生

3. 中学3年生

4. 高校1年生

5. 高校2年生

6. 高校3年生

7. 高校4年生

問2 あなたの性別を教えてください。（あてはまる番号 1 つに○）

1. 男

2. 女

3. その他

問3 あなたの住んでいる行政区等を教えてください。（あてはまる番号 1 つに○）

1. 北区

2. 上京区

3. 中京区

4. 下京区

5. 東山区

6. 南区

7. 左京区

8. 山科区

9. 右京区

10. 西京区

11. 伏見区

12. 京都市外

問 10 問 9 で 1 ～ 12 のいずれかを回答した方にお聞きます。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。（あてはまる番号 1 つに○）
1. 相談相手や話を聞いてくれる人がいる
2. 相談相手や話を聞いてくれる人がいない
3. 相談や話はしたくない
Ⅲ. 家庭や家族のことについてお伺いします。
問 11 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（ここで「お世話」とは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などです。）（あてはまる番号 1 つに○）
1. いる
2. いない ⇒ 問 20 へ
問 12 問 11 で「1. いる」と回答した方にお聞きます。お世話の状況について教えてください。
① お世話を必要としている方（それぞれの方について、あてはまる番号すべてに○）
1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他
② お世話を必要としている方の状況やあなたが行っているお世話について教えてください。お世話を必要としている方が複数いる場合はそれぞれの方についてお答えください。
a) お世話を必要としている方の状況を教えてください。（あてはまる番号すべてに○） この設問に答えなければ次の設問へ進んでください。
1. 高齢（65 歳以上）
2. 幼い
3. 要介護（介護が必要な状態）
4. 認知症
5. 身体障がい
6. 知的障がい
7. 精神疾患（疑い含む）
8. 依存症（アルコール依存症、ギャンブル依存症など）（疑い含む）
9. 7, 8 以外の病気
10. その他〔 〕
b) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。（それぞれの方について、あてはまる番号すべてに○）この設問に答えなければ次の設問へ進んでください。
1. 家事（食事の準備や掃除、洗濯）
2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など
3. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）
4. 外出の付き添い（買い物、散歩など）
5. 通院の付き添い
6. 感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）
7. 見守り
8. 通訳（日本語や手話など）
9. 金銭管理
10. 薬の管理
11. その他〔 〕

★以下は、お世話を必要としている方が複数いる場合も、それぞれの方ごとではなく一括でお答えください。
③ お世話は誰と行っていますか。（あてはまる番号すべてに○）
1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. 親戚の人
7. 自分のみ
8. 福祉サービス（ヘルパーなど）を利用
9. その他〔 〕
④ お世話はいつから行っていますか。お世話を始めた年齢をお答えください。（はっきりとわからない場合は、だいたい年齢でかまいません）（それぞれの方ごとではなく一括でお答えください。）
（ ）歳から
⑤ お世話をしている頻度を教えてください。（あてはまる番号 1 つに○）（それぞれの方ごとではなく一括でお答えください。）
1. ほぼ毎日
2. 週に 3 ～ 5 日
3. 週に 1 ～ 2 日
4. 1 か月に数日
5. その他〔 〕
⑥ 平日にお世話はどれくらい行っていますか。時間数をお答えください。（日によって異なる場合は、この 1 か月の中で最も長かった日の時間をお答えください）（それぞれの方ごとではなく一括でお答えください。）
1 日（ ）時間程度
問13 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。（あてはまる番号すべて
1. 学校に行きたくても行けない
2. どうしても学校を遅刻・早退してしまう
3. 宿題をする時間や勉強する時間が取れない
4. 睡眠が十分に取れない
5. 友人と遊ぶことができない
6. 部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった
7. 進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した
8. 自分の時間が取れない
9. その他〔 〕
10. 特にない
問14 お世話をすることにきつさを感じていますか。（あてはまる番号すべてに○）
1. 身体的にきつい
2. 精神的にきつい
3. 時間的余裕がない
4. 特にきつさは感じていない
問15 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。（あてはまる番号 1 つに○）
1. ある ⇒問16 へ
2. ない ⇒問17 へ

問16 問15 で「1. ある」と回答した方にお聞きます。それは誰ですか。（あてはまる番号すべて）
1. 家族（父，母，祖父，祖母，きょうだい）
2. 親戚（おじ，おばなど）
3. 友人
4. 学校の先生（保健室の先生以外）
5. 保健室の先生
6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
7. 医師や看護師， 他病院の人
8. ヘルパーやケアマネ， 福祉サービスの人
9. 役所や保健センターの人
10. 近所の人
11. SNS 上での知り合い
12. その他〔 〕
問17 問15 で「2. ない」と回答した方にお聞きます。相談していない理由を教えてください。（あてはまる番号すべてに○）
1. 誰かに相談するほどの悩みではない
2. 家族外の人に相談するような悩みではない
3. 誰に相談するのがよいかわからない
4. 相談できる人が身近にいない
5. 家族のこのため話しにくい
6. 家族のことを知られたくない
7. 家族に対して偏見を持たれたくない
8. 相談しても状況が変わるとは思わない
9. その他〔 〕
問18 問15 で「2. ない」と回答した方にお聞きます。お世話を必要としている家族のことや， お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。（あてはまる番号 1 つに○）
1. いる
2. いない
問19 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。（あてはまる番号すべてに○）
1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談にのってほしい
3. 家族の病気や障がい， ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
4. 自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
5. 自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい
⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか
〔 〕
6. 自由に使える時間がほしい
7. 進路や就職など将来の相談にのってほしい
8. 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート
9. 家庭への経済的な支援
10. その他〔 〕
11. 特にない
12. わからない

Ⅳ. ヤングケアラーについて

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性病的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

問20 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）

1. あてはまる
2. あてはまらない
3. わからない

問21 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。（あてはまる番号 1 つに

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

問22 問21 で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。（あてはまる番号すべてに○）

1. テレビや新聞、ラジオ
2. 雑誌や本
3. SNS やインターネット
4. 広報やチラシ、掲示物
5. イベントや交流会など
6. 学校
7. 友人・知人から聞いた
8. その他

自由記述欄（ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、要望等なんでも）

アンケートにご協力いただきありがとうございました。